

東京都病院協会 診療情報管理のための意見交換会 第1回会合議事録

日 時：平成19年12月4日(火) 19:00～20:10

場 所：東医健保会館 4F 第1会議室

参加者：飯田先生、長谷川先生、栗田先生

参加者24名(別添リスト参照)

事務局 末岡

資 料：①診療情報管理のための意見交換会 参加希望者一覧(H19.12.4 現在)

②東京都病院協会 診療情報管理のための意見交換会会則(案)

③診療情報管理のための意見交換会へのご意見をお寄せ下さい(FAX用紙)

書 記：練馬総合病院 山本周之・中島歩美

1. 自己紹介

資料①

2. 運営委員会 運営委員の選定(敬称略)

佐藤 達哉 (No24.板橋中央総合病院)

玉置 薫 (No30.新葛飾病院)

山本 周之 (No26.練馬総合病院)

中島 歩美 (No25.練馬総合病院)

以上4名。なお、運営委員には発起人*¹も参加。

*¹ 脇田 紀子 (No. 4.聖路加国際病院)

村井 はるか(No.17.河北総合病院)

荒川 直子 (No.35.永生病院)

3. 【東京都病院協会 診療情報管理のための意見交換会会則(案)】の確認

資料②

(1)資料②についての説明

a)空欄部を下線のとおり置き換える

第4条 運営方針および運営方法

2 会の運営のため、運営委員長1名、運営委員若干名を置く

第5条 開催日程

1 会は、原則として数ヶ月に1度開催する。

b)第2章 「補則 第7条 設立委員会」を削除

⇒運営委員会を設立のため

(2)開催頻度のアンケート結果報告

当会開催の際に合わせて実施した、【開催頻度のアンケート】結果

1ヶ月に1度：2件 / 2～3ヶ月に1度：12件 / 3ヶ月に1度：27件 / 6ヶ月に1度：2件

(3)(1)について出席者の提案・希望・意見など

a) 「診療情報管理のための意見交換会」名称を短くしたい

- ・会則には意見交換以上の内容も盛り込まれている点、自主的な探究する集まりの会である点より、「診療情報管理研究会」はどうか

b) 本会はどの程度のレベル(経験年数など)の人材を主体として考えているのか明確にしたい

- ・会則の活動計画に「レベルに応じた活動も行なう」旨を盛り込んでどうか。毎年生まれる診療情報管理士のレベルアップも重要
- ・レベルに応じた活動もたまに開催するには良いが定例会をそのような場にしないほうが良いのではないか。定例会は定期で開催し、レベル別の開催は別に企画するのはどうか。あらゆる経験・バックグラウンドの人材が集まることも重要
- ・誰が参加する事がふさわしいのかについて整理し、活動を始めるべきではないか。

c) 「診療録管理学会」など複数ある学会、研究会などの活動との違いは何ですか。

- ・活動していく中で明確にしていくべきではないか。
- ・他の会より小回りの聞く会にしたい。身近で困った点など具体的に解決できる場にしたい
- ・自分たちで動いていく会、自分たちが思って行動する会にしたい

d) 会則の活動計画は多数盛り込まれているが開催頻度が3ヶ月に1度という点に疑問(内容と頻度のアンバランスさ)

- ・定例会は3ヶ月に1度開催し、分科会を密に開催してはどうか。

e) 開催の時間帯はどのように考えているのか。常に同じ時間帯で開催する予定なのか。

- ・平日の勤務帯/平日夜/週末について希望を挙手で確認⇒「平日夜」が多数
- ・資料③にご希望・ご意見を記入してください

4. 運営委員長の選出

発起人より、運営委員長の立候補を募ったところ、板橋中央総合病院 佐藤 達哉 氏が立候補した。他に立候補はなく、満場一致で同氏を運営委員長と決定した。

5. その他

- ・本会についてご意見などは年内中に事務局へFAXしてください
- ・本会の連絡をメールで希望する方は、その旨を用紙に記入し事務局まで連絡してください
- ・今後のスケジュールについては、本会終了後、運営委員会を開催します。詳細は決定次第、皆さまにご連絡します

以上